GERARD LYONS

LONDON SPEAKER BUREAU

- **Leading global economist widely respected for his understanding of macro economic trends and the accuracy of his forecasting**

Topics

- Brexit
- Economics
- Emerging Markets
- Europe
- Finance
- Future
- Government
- Politics
- Technology

Gerard Lyons博士は、英国を代表するエコノミストの一人です。彼は「国民投票キャンペーン」の共同創設者であり、英国国民投票キャンペーンで主導的な役割を果たしました。一流のシティエコノミストであり The CityUKの元理事でもある彼は、長期的には Brexitが英国の金融セクターだけでなく経済にとっても良いものであるという見方を強く思いました。今年1月、彼は首相のランカスターハウス演説の前に発表された「クリーンブレジット」という論文を共著し、そこで彼女は政府のブレジット政策を発表しました。首相の演説の2日前に、サンデータイムズ紙のメインストーリーはテレサ5月がきれいなBrexitを要求することであると言った、そして..「（ライオンズによる）論文はダウニングストリートに示されて、好評だった」と情報筋が言った。首相のスピーチの前日、英国の報道機関のライオンズによるコラム（「新しい英国にとっては、きれいなBrexitが最善である理由」）は彼の見解を概説しました。昨年11月、日本政府はBrexitとその意味について話すために東京にLyonsを招待しました。

Dr Lyonsは、世界経済、金融市場、および金融政策の専門家であり、優れた予測実績を誇っています。彼は、北京で開催されたEU-中国サミットで話された米国上院銀行および外交委員会と、ダボスからのグローバル化されたテレビで放送されたBBC討論会について証言しました。

彼は、バンクオブチャイナ UK の最高経済戦略責任者であり、オンライン裁量資産管理会社Netwealth Investmentsの株主であり、金融コンサルタントのParker FitzgeraldおよびChief Economic Advisorの顧問を務めています。彼は諮問委員会に座っています。ロンドンスクールオブエコノミクスアンドインペリアルカレッジのグランサム環境変化研究所。そして公式の金融金融機関フォーラムで。彼は英国の生産性の低さとそのより広い経済的および社会的影響に対処するための社会正義センターでのプロジェクトについて助言しています。

2013年1月から2016年5月まで、彼はロンドン市長のBoris Johnsonの最高経済顧問でした。 2014年8月に、ジョンソン氏は、国民投票の準備に非常に影響力があると広く見られている、「ヨーロッパ報告：双方にとって好都合な状況」というリヨンによる報告を開始した。そして1999年に、ライオンズは「英ポンド委員会」の共著者であり、英国がポンドを維持し、ユーロを採用しない理由を概説しました。

以前は、Chase Manhattan Swiss Bank Corporation DKB International およびStandard Chartered BankのThe Cityで、27年間の上級職を歴任しました。

彼は、ブルームバーグの世界有数のグローバルキャスター（350人以上）を含む多くの賞を受賞した、エースのキャスターです。さらに、金融危機の前の1か月前、彼は深刻で切迫した不況を予測する唯一の2人の英国の経済学者のうちの1人でした。

info@londonspeakerbureau.my +603 2301 0988